



9月21日(日) 10:00~11:30 赤羽文化センター
第1視聴覚室において、9月例会・手話学習会を開催
しました。講師は手話通訳士の五十嵐郁子氏で、会員
30名、非会員1名、見学者2名(10月から入会)、合
わせて33名の方にご参加いただきました。



★今回の学習内容★

短文を読み取りましょう

例文1

() をする時の掛け声を「() グー、()」という人が多いですね。
この言い方は() の() さんが() で言い、それが広まりましたが、私の母の
子供時代は「() 」だったそうです。

例文2

() の掛け声と言えば、私が小学生の頃は「() 」と言ったと思います。元々は()
() を中心に使われた言い方で、後に() に広まったとの調査結果もあります。なるほど、
私の出身地は() です。

じゃんけんの掛け声は「じゃんけんポン!」が一般的ですが、全国各地に独自の掛け声が残っているようです。
秋田県「じっけんぴ」群馬県「ちーちっぽ」埼玉県「あいけんちっ」千葉県「ちーけった」静岡県「ちょいらっせ」
長野県「ちっけった」大阪府「いーじゃんでーほい」徳島県「えいさーほい」愛媛県「しーやん・えす」福岡県「じ
ゃいけん・しっ」宮崎県「ぐーとーぱっ」沖縄県「ぶーさー・しっ」など。

「読み取り」のポイント

「手話を読み取るときは、まず紙の大きさを決めておき、このく
らい書けば腕がこのくらい動くと、体で覚えさせることが大切で
す。読み取れなかったところは空けておいて、次に進むこと。い
つも小さいメモ帳で、わかる単語だけを書き入れていると、頭の
整理がつかないですよ」



五十嵐講師からお菓子を頂戴しました。
可愛い小袋も講師の手作りです。



コミ男とモア子のしゅわ談義



コミ男：今回の読み取りは難しかったな。各地で使われていたじゃんけんの掛け声を指文字で表わされたけれど、
半分も読み取れませんでした。

モア子：私も読み取りが苦手。じゃんけんの掛け声って「最初はぐー、じゃんけんポン!」。それしかないと思っ
ていました。各地に残されているじゃんけんの掛け声はバラエティーに富んでいますね。

コミ男：指文字の読み取り練習もできたし、じゃんけんの奥深さを知ることもできました。グループの中で「あ
あ、ない、こうでもない」と悩みながら答え合わせをして楽しめました。